



国際シンポジウム

参加費無料

# 取調べと可視化

同時通訳有

## 新しい時代の取調べ技法・記録化と人間科学

日時: 2014年7月20日(日) 10:00-18:00 (9:30受付開始)

場所: 立命館大学朱雀キャンパス 5階 ホール

現在日本では、「取り調べの可視化」の実現に向けての議論が大詰めを迎えています。このシンポジウムでは、日本の(録音録画による)取調べ可視化の未来を考えるために、この制度の先行国であるオーストラリアと韓国の経験に学びます。さらに日本の研究者・実務家が、各国の取調べと可視化の現状を紹介し、新しい時代の取調べ技法や記録のあり方について議論します。

9時30分 **受付開始**

10時 **開会挨拶** 指宿信教授(成城大学)  
10時10分 **基調講演** 稲葉光行教授(立命館大学)  
10時30分 **招待講演** 仲真紀子教授(北海道大学)

11時 **第1部 「オーストラリア」における可視化導入以降の取調べ室での取調べ**

報告者: ジェーン・テラハンティ教授(チャールズ・スタート大学)  
テイビッド・ティクソン教授(ニュー・サウスウェールズ大学)  
コメンテーター: 秋田真志氏(弁護士・大阪弁護士会)  
司会: 指宿信教授(成城大学)



(12時30分 昼食・休憩)

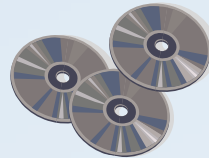
13時30分 **第2部 「韓国」における可視化以降の実践的問題と心理学的課題**

報告者: ジョ・ウンキョン教授(ハンリム大学)  
パク・ノソプ教授(ハンリム大学)  
コメンテーター: 遠山大輔氏(弁護士・京都弁護士会)  
司会: 山田直子教授(関西学院大学)



15時20分 **第3部 「日本」における可視化以降を見据えた法学的・心理学的課題**

報告者: 高木光太郎教授(青山学院大学)  
淵野貴生教授(立命館大学)  
コメンテーター: 小坂井久氏(弁護士・大阪弁護士会)  
司会: 中島宏教授(鹿児島大学)



16時50分 **第4部 全体討議**

指定発言者: 浜田寿美男教授(立命館大学)  
仲真紀子教授(北海道大学)  
司会: 指宿信教授(成城大学)

17時50分 **閉会挨拶** サトウタツヤ教授(立命館大学)

18時30分 **懇親会** (@レストランたわわ、有料 2,000円)



- ・参加費無料、一部日本語による同時通訳/解説を行います。
- ・資料準備の関係から、事前のご予約をお願い致します。  
当日のご参加は可能ですが、席数・資料数・同時通訳機器には限りがございますので予めご了承下さい。
- ・お申込みは、下記URL「お申込みフォーム」からお送り下さい。  
**お申込みフォーム**: <http://www.ritsumeihuman.com/news/read/id/76>
- ・メールまたはFAXをご希望の方は、件名を「取調べと可視化シンポ予約」とし、①氏名、②ご所属、③ご連絡先(E-Mail)④参加企画(シンポ・懇親会)を下記にお送り下さい。  
**Email**: [cfcf.rits@gmail.com](mailto:cfcf.rits@gmail.com) **FAX**: 075-465-8245 (担当: 八木)
- ・会場の朱雀キャンパスには駐輪・駐車場がございません。公共交通機関にてご来場下さい。



共催: 日本学術振興会科学研究費・新学術領域「法と人間科学」  
立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構  
「文理融合による法心理・司法臨床研究拠点(法心理・司法臨床センター)」  
立命館大学人間科学研究所・文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業  
「インクルーシブ社会に向けた支援の<学=実>連環型研究(修復的支援チーム)」

協賛: 立命館大学法科大学院、立命館大学法科大学院同窓会、立命館法曹会  
後援: 近畿弁護士会連合会、京都弁護士会、大阪弁護士会